第120回日本神経学会中国･四国地方会
プログラム

A会場（4F 多目的ホール）

9:25～9:30　開会式

9:30～10:10　一般演題 1：血管障害
座長：田中　智貴（島根大学）

A-01　関節リウマチを背景とした環軸椎亜脱臼によるBow Hunter症候群の1例

岡山市立市民病院　脳神経内科　越智　俊樹

A-02　進行癌に対する抗がん剤・免疫チェックポイント阻害薬投与中に発症した後脊髄動脈梗塞の一例

徳島県立中央病院　医学教育センター　北口　悠希

A-03　脳出血急性期加療中に両側分水嶺領域の脳梗塞を呈した2例

松江赤十字病院　教育研修推進室　田淵　直人

A-04　卵巣明細胞癌に伴う凝固亢進により抗凝固療法中および腫瘍摘出術直後に脳主幹動脈閉塞を反復した1例

広島市立北部医療センター安佐市民病院　脳神経内科
西丸　遥菜

10:20～11:32　若手奨励賞候補演題
座長：松下　拓也（高知大学）

YA-1　急速進行性のMGUS非合併孤発性成人発症型ネマリンミオパチーに単純血漿交換療法が奏効した1例

愛媛大学医学部付属病院　脳神経内科・老年内科
藤田　滉大

YA-2　膠原病合併筋炎が疑われ、筋生検で封入体筋炎と診断された一例

高知大学医学部附属病院　脳神経内科　岸野　俊介

YA-3　多発単神経障害を呈したALK融合遺伝子陽性炎症性筋線維芽細胞腫瘍の1例

香川大学医学部　消化器・神経内科学　野々宮隆成

YA-4　前頭側頭型認知症の家族歴を有し、*SOD1*の新規ヘテロ接合性連続２塩基置換を認めた遺伝性ALS例

岡山大学病院　卒後臨床研修センター　山本　清華

YA-5　ステロイド抵抗性の肺炎球菌感染後脳血管炎に対してシクロホスファミド静注療法が有効であった１例

愛媛県立中央病院　臨床研修センター　三瀬　萌絵

YA-6　呼吸障害が四肢筋力低下に先行したTPM2関連ネマリンミオパチーの１例

香川県立中央病院　卒後臨床研修センター　北見　　智

11:40～12:10　世話人会

12:20～13:10　ランチョンセミナー１
座長：清水　文崇（山口大学）

進化するMSの疾患修飾療法
～ブメリティ製剤の最新知見と臨床的アプローチ～

東京女子医科大学病院　脳神経内科（医療安全科兼務）
清水　優子

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

13:20～14:00　一般演題２：遺伝性疾患
座長：守安正太郎（鳥取大学）

A-05　高齢発症の感覚ニューロパチーを契機に診断したRFC1遺伝子ホモ接合性ACAGGリピートを伴うCANVASの一例

岡山大学病院　脳神経内科　池上　　憲

A-06　VEXAS症候群の診断に至ったGuillain-Barré症候群様末梢神経障害の一例

脳神経センター大田記念病院　脳神経内科　佐藤　達哉

A-07　PLEC関連疾患との鑑別を要した顕性栄養障害型表皮水疱症とミトコンドリアミオパチーの合併例

鳥取大学医学部　脳神経内科　中村　知哉

A-08　機能解析により病原性が支持された新規CSF1R変異によるALSP/HDLSの１例

広島大学病院　脳神経内科／
広島西医療センター　脳神経内科
田金裕一郎

14:05～14:45　一般演題３：神経免疫疾患(CNS)1
座長：杉本　太路（広島大学）

A-09　発症早期に治療を開始して下痢・体重著減と興奮症状を生じることなく軽快したDPPX抗体関連脳炎の60歳女性例

山口県立総合医療センター　脳神経内科　尾本　雅俊

A-10　MRIで側頭葉病変を認めた抗NMDA受容体脳炎に対し適切な治療介入により良好な転帰が得られた１例

鳥取県立中央病院　脳神経内科　岡田　捷豊

A-11　MOGADによる皮質脳炎で発症し抗NMDAR脳炎に至ったと考えられる20歳代女性症例

広島市立広島市民病院　脳神経内科　上野　弘貴

A-12　Faciobrachio-crural dystonic seizureを契機に診断し基底核病変の経時的変化を捉えた抗LGI1抗体関連脳炎の１例

広島大学病院　脳神経内科　飯石　隼也

14:55～15:35　アフタヌーンセミナー１
座長：松下　拓也（高知大学）

NMOSD診療におけるIL-6阻害の意義

千葉大学大学院医学研究院　脳神経内科学
鵜沢　顕之

共催：中外製薬株式会社

15:40～16:30　一般演題４：神経免疫疾患(CNS)2
座長：逸見　祥司（川崎医科大学）

A-13　ペースメーカー留置により画像評価が制限され、リツキシマブ導入中に再発したNMOSDの１例

倉敷中央病院　脳神経内科　神谷　康介

A-14　反復する局所神経症状を呈し、硬膜生検で診断に至ったリウマチ性髄膜炎の一例

川崎医科大学附属病院　脳神経内科　齊藤　明子

A-15　反復性無菌性髄膜炎と髄液MOG-IgG陽性を呈しMOGAD髄膜炎型が示唆された１例

さぬき市民病院　内科　千葉　雄太

A-16　脊髄造影効果を認めた、硬直とミオクローヌスを伴う進行性脳脊髄炎（PERM）の高齢発症例

姫路中央病院　神経内科　喜多也寸志

A-17　血清MOG抗体が陽性で診断に難渋した中枢神経系原発悪性リンパ腫の１例

徳島大学大学院医歯薬学研究部　臨床神経科学分野
花田　健太

16:30～16:40　若手奨励賞表彰式

16:40～　閉会式

B会場（2F くすのき１・２）

9:30～10:10　一般演題５：末梢神経・筋１
座長：柚木　太淳（岡山大学）

B-01　蜂刺傷後に発症したギラン・バレー症候群の１例

徳島大学病院　脳神経内科　林　祐里

B-02　眼瞼下垂や複視が主訴で封入体筋炎（Inclusion body myositis）と考えられた81歳女性例

岡山赤十字病院　脳神経内科　武久　康

B-03　皮膚症状に乏しい抗Ｋｕ抗体陽性筋炎の一例

呉医療センター・中国がんセンター　脳神経内科
小松由樹子

B-04　ステロイド治療に反応したミトコンドリア病理を伴う多発性筋炎 (PM-Mito) の一例

島根大学医学部附属病院　脳神経内科　田部井　寛

12:20～13:10　ランチョンセミナー２
座長：越智　雅之（愛媛大学）

重症筋無力症治療薬 アイマービー

広島大学大学院医系科学研究科
杉本　太路

共催：J＆J ヤンセンファーマ株式会社

13:20〜14:00　一般演題６：末梢神経・筋２
座長：東原　真奈（徳島大学）

B-05　ギラン・バレー症候群を疑われて紹介されたチアミン欠乏症の一例

徳島県立中央病院　医学教育センター　半田　　彪

B-06　心サルコイドーシスに対するステロイド，アミオダロン内服中にPOEMS症候群を発症した70歳女性例

山口大学大学院医学系研究科　臨床神経学　浜本　優佳

B-07　CIDPとして加療中に水頭症を呈したサルコイドーシスの１例

愛媛大学医学部附属病院　臨床薬理神経内科
宮上　紀之

B-08　再発時に両動眼神経と左外転神経の障害を呈し，単純血漿交換療法が著効した典型的CIDPの１例

鳥取大学医学部　脳神経医科学講座　脳神経内科分野
天野　由規

14:05〜14:45　一般演題７：変性疾患１
座長：安藤　利奈（愛媛大学）

B-09　トフェルセン投与に伴う脊髄炎・髄膜炎を認めたSOD1バリアントALSの２例

高知大学医学部　脳神経内科学教室　池田　達也

B-10　初期に輻輳障害を主とした眼球運動障害を呈した進行性核上性麻痺と考えられた一例

岡山大学病院　脳神経内科　小坂田陽介

B-11　ホスレボドパ／ホスカルビドパ持続皮下注療法開始３ヶ月後に自殺に至った61歳女性例

広島保健生活協同組合福島生協病院　脳神経内科
山脇　健盛

B-12　進行が緩徐であった孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病の74歳男性例

脳神経筋センターよしみず病院　脳神経内科
川井　元晴

14:55〜15:35　アフタヌーンセミナー２
座長：松井　尚子（徳島大学）

Inebilizumabが拓く自己免疫性神経疾患治療の新たな展開
〜NMOSDから全身型重症筋無力症へ〜

愛媛大学大学院医学系研究科　難病・高齢医療学講座
越智　博文

共催：田辺ファーマ株式会社

15:40〜16:20　一般演題８：変性疾患２
座長：前田　敏彦（山口大学）

B-13　脳炎様症状を繰り返した後に急激な認知機能障害の進行を認めた神経核内封入体病の１例

津山中央病院　内科　竹内　良輔

B-14　Non-convulsive status epilepticusを呈した神経核内封入体病の一例

脳神経センター大田記念病院　脳神経内科　水上　　健

B-15　橋出血後に肥大性下オリーブ核変性をきたした46歳男性例

山口大学大学院医学系研究科　臨床神経学講座
根来　　滉

B-16　運動失調が目立ったMarchiafava-Bignami病の61歳男性

水島協同病院　宗兼　麻美

C会場（2F くすのき3）

12:00〜13:30　ランチョンハンズオンセミナー
座長：橋本　　侑（高知大学）

CIDP・MG電気診断のHallmarks/Pitfalls

徳島県立中央病院　脳神経内科
大崎　裕亮

“Treatable”な免疫性神経筋疾患であるCIDP・MG診療は，適切な時期に適切な治療を行うことで患者さんの自己実現に貢献でき，脳神経内科臨床医にとりまして大変やりがいのある仕事です．しかし，これら疾患の診療を私たち臨床家に難しく感じさせる要因の一つに，これら疾患の診断と病態評価があると感じてきました．本邦の現行診療ガイドラインは臨床家にとりましても大変有用ですが，その中でも電気診断の果たす役割は依然として大きく，むしろより詳細かつ重要視される傾向にございます．

本セミナーでは，CIDP・MGの電気診断において，検査を実践されているみなさま，検査を依頼し結果を解釈されるみなさまに向けて，電気診断の要点（Hallmark）と制限（Pitfall）を実践者の立場から可能な限り具体的にご紹介いたします．日本光電様にもご協力いただき，実際に使用する機器を用いたデモンストレーションも行う予定です．

長年にわたり日本神経学会生涯教育セミナーや日本臨床神経生理学会の神経筋診断セミナーで勉強させていただいた経験を踏まえて，可能な限りわかりやすく解説いたしますので，みなさま奮ってご参加ください．

皆様のご参加を心よりお待ちしております．

共催：アルジェニクスジャパン株式会社
機器：日本光電工業株式会社